

図書館だより

埼玉県立図書館

第 51 号

平成 4 年 3 月 1 日

編集 埼玉県立図書館
広報委員会
発行 埼玉県立浦和図書館
館長 新井 一久
浦和市高砂 3-1-22
電話 048 (829) 2821

《埼玉の草花》

(主な内容)

- 「ツワブキ」(荻原甚三郎)..... (1)
- 「埼玉を彩る」(高山智子)..... (2~3)
- 「花、学校や社会では」..... (4)
- 本のひろば..... (5~6)
- 3月~5月の主な催し物..... (7)
- 埼玉の草花..... (8)



ツワブキ (県立桶川西高校 遠藤光一氏撮影)

ツワブキ

海岸や海辺の山などに自生している丈夫な常緑の多年草です。

花や葉が美しいので、よく公園や庭に植えられています。園芸種も多い。

ツワブキ(厚葉路)というのは、葉が厚く、山菜のフキ(路)の葉に似ているところから、つけられた名前といわれていますが、ツワブキ(艶路)の変化したもので、光沢のある葉からの名だという説もあります。

古くから、綿毛をかぶった若い葉柄をつくだ煮にしますが、これが本当のキヤラブキです。

また、葉はあふつて、はれものなどに張って薬用にも使われました。

数年前の日月に、四国の栗林公園で、花の盛りの、多数の群生したのを見ましたが、葉に星状の斑の入ったものでした。一種の園芸種で黄斑入りツワブキといわれているものです。

この種類は丈夫で、葉も美しいので鉢でも栽培し、山野草展でもよく見かけます。

殖やし方は、種子がこぼれて、それから生えますが、親になるまでには3~4年かかります。一番簡単なのは、秋に根茎に2~3本の葉柄をつけて、根茎を切り取り、移植します。

県立桶川西高校教頭 荻原甚三郎

2012345678913012345

埼玉を彩る

埼玉県園芸試験場

高山 智子

はじめに

生花店のウインドウは一段と華やかさを増し、公園の花壇や街路の生け垣で元気に咲いている草花の姿に春の訪れを感じる季節となりました。春と言えば一面のお花畑をイメージし、パステルカラーの花々はほかほか陽気の春を連想させてくれますが、今では一年中花屋さんの店先に多くの種類の花があふれています。

野菜の世界では、とうの昔に季節感はずれ、一年中様々な野菜が出回っておりますが、花の世界も例外ではなくなってきました。

その一役を担っている花植木生産は、意外なことと思われるかも知れませんが埼玉県は全国有数の生産県です。そこで花屋さんの店先に並ぶ花達に同胞としての親しみをもっていただければと、概況を紹介したいと思います。

埼玉県の花植木生産

本県の花植木生産は、遠く江戸時代初期（一六〇〇年代初め）に県南地域で始まったといわれています。

以来、大消費地東京に隣接しているという立地条件を活かし、外延的拡大による新しい産地を形成しながら全国有数の生産県としての地位を築いてきました。

平成元年の統計では、栽培面積、生産額、農家数ともに全国4位に位置しています。生産分野は大まかに切り花、鉢物・花壇用苗物、枝物、植木となります。

球根切花を筆頭に多品目にわたる切花生産

チューリップ

チューリップと言って思い浮かぶのは富山県と新潟県ですが、切花になると全国38%（平成元年産）の生産シェアを占め、堂々1位は埼玉県です。深谷市をはじめとした県北地域と越谷市を中心とした県南地域で生産され、クリスマス頃から春先まで店頭をにぎわします。最近ではオランダや日本国内で数多くの品種が育成され、一見チューリップとは思われないような花が多く出回っています。たとえばシヤクヤクの花のよう



チューリップ

な、淡いピンクのアンジェリケ、長く尖った花弁の先がユリの花のように外側に反りかえって咲くチャイナピンク、赤と黄の強烈な花色に、深い切込みと波打ったようなねじりの入った花弁が印象的なフレイミングパーロットなどがあります。

花径が15cm内外にもなり1輪でブルーやココアージュに用いられる、オリエンタル系の代表的品種。ル・レーフは花の中心にわずかに赤小斑が入る美しいソフトピンクの花で、オリエンタル系の中では小輪のタイプなので、可愛らしさと香りのよさで人気急上昇中です。

生産は深谷市を中心とした県北地域、川口、越谷市等の県南地域、シテッポウユリの多い両神村など全県に渡っています。

その他の切り花

その他、今は盛りのフリージア、3大切花の1つバラ、大輪・小輪・スプレーと形も用途も様々なキク、豪華絢爛カトレア・フレノブシス等の洋ラン、後ほど紹介の宿根アスターなど30品目以上の切り花がほぼ県内全域に渡って生産されており切り花全体では生産額約48億円で全国11位となっています。

立地を活かした鉢物・花壇苗生産

浦和市の荒川河川敷に自生する日本サクラソウは、「県の花」として有名ですが、その同じ仲間の各種プリムラ類は埼玉県が生産のトップを占めています。本県を代表する鉢物産地の鴻巣市、行田市、川里村一帯で、

栽培面積は全国の約2割で花木類同様第1位、生産額は第3位です。

その他の鉢物

切り花対鉢物の生産額比率が、全国平均7対3に対して、本県は4対6と鉢物の割合が大きく近郊産地の特徴を示しています。生産品目は草



大型施設による大規模生産が進められています。最も生産の多いポリアンサは近年バラ様の花型が現れるなど多様化が進み、ついで花色の豊富なジュリアン、パステルカラーの美しいオブコニカ、小花の集まりがかわいらしいメラコイデスと続いています。

花木鉢物類

花木鉢物の生産は、古い歴史を持つ川口市を中心とした県南地域と、独自の栽培技術により系統出荷を行なっている寄居町の県央西部が盛んで、主に花ウメ、カイドウ、ヒメリンゴ等の伝統的な鉢物が特徴的です。加えて、近年品種が豊富になってきたハイドラシヤ（西洋アジサイ）、洋風化に伴い人気の出たアザレア、さらにエニシダやバラなどが行田市、児玉郡、越谷市など県内各地で栽培され、増加傾向にあります。

栽培面積は全国の約3割を占め、順位は1位、生産額は香川県に続いて第2位です。

花壇苗類

都市緑化に欠かせない花壇苗は、定番のパンジー、ベゴニア、マリーゴールドに加え、ハナスベリヒユ等の新しい品目が鴻巣市、川里村を中心に県央東部で大規模に生産されて

三〇〇年の伝統を持つ「赤山物」の川口市を始めとする浦和市、大宮市はいけ花材料のウメ、サクラの生産が盛んで、高級品として市場の評価も高く、全国に誇る産地です。また、これに続く新産地として山添地帯の気候条件を活かし生産を伸ばしている、小川町、東秩父村、両神村があります。

枝物生産では、収穫後、開花促進・出荷にあつて、「枝折（しおり）」技術という独特な伝統技法があり、現在も引き継がれています。

歴史と伝統の植木生産

「赤山の枝物」と並んで称される「安行の植木」も全国的な知名度です。埼玉の植木生産はこの安行周辺、県南部と大里、児玉郡の県北部、入間郡の県西部に大別されます。県南は庭木用樹木の高品質生産が行われており、県北は広大な畑地を利

4位に位置し、面積の多い樹種はヒバ類（全国1位）、モミジ類（同3位）、ツバキ、サツキ（同4位）等です。近年、緑に関する社会的関心が高まり、都市緑化、ベラング緑化やインドア・ガーデン等の普及が進み、植木生産も伝統技術に加えて、ポット生産等の新技術が導入されてきました。また、生活様式の洋風化に合わせた樹形、樹種の生産も促進されています。

生まれも育ちも埼玉県

最後に、この埼玉県に生まれて、埼玉県の顔になりつつある三人衆を紹介すると、●「クシヤクソウ」の名前で、添え花の代表格である宿根アスター、シンクジャク ● 県の園芸試験場で生まれたクシラン、ピュアファースト。この花がお目見えするのはもうしばらく先です ● 「県の木」ケヤキの中の、むさしの一号、昭和58年から植物振興センターで増殖が続けられています。



著者プロフィール

昭和37年大宮市生れ
昭和60年埼玉県園芸試験場勤務
現在に至る。

花「学校や社会では

「さくら組さんはひまわりね、あやめ組の方は、あさがおのお絵書きをしましょう。」

咲いた咲いたチューリップの花がわらわは見たり野中のばら、

「校内に咲いている花を季語にして俳句を作ってみましょう。」

「今日の顕微鏡実験は、花粉の観察をして、スケッチして下さい。」

「シンビジウムの生長点をカッターでシグシグと、培地に移植します。実験ノートに従って作業を始めて下さい、クリリンベンチの中だけで作業して下さい。」

「ツルバギア、ネリネ、サンダーソニア、ホワイトレース、ファレノプシス、スマイラックス、玉しだ、を使い、ウエディングメインテーブルの装飾を行います。二人一組で、四十分で仕上げして下さい。」

「チューリップは、球根ごと抜きとりこのように球を割り、茎を少しでも長く取り出し、十本一束にし二十把を一箱に詰めて出荷します。では収穫して下さい。」

このように、花は幼稚園から、小・中・高校、専門学校に至るまで、あらゆる教科の中で扱われています。

中でも、花の栽培は、飼育と共に、生命の保護、育成を体験する最も貴重な学習であり、人間の心を育む実学校緑化コンクール応募状況

年度	部	入賞校	優秀校
昭和59	高	10	14
	中	3	10
昭和60	高	13	10
	中	7	15
平成元	高	14	16
	中	8	16
昭和63	高	14	14
	中	7	14
昭和62	高	14	14
	中	7	14
昭和61	高	15	15
	中	7	15
昭和60	高	13	13
	中	7	13
昭和59	高	10	14
	中	3	10

花いっぱいコンクール応募状況

年度	賞	最優秀校・職域
昭和60	賞	浦和市立針ヶ谷小学校
	賞	浦和市立大牧小学校
昭和61	賞	浦和市立黒浜南小学校
	賞	浦和市立荒川東小学校
昭和62	賞	東松山市水道部
	賞	吉川町立栄小学校
昭和63	賞	東松山市後所
	賞	川里村立広田小学校
平成元	賞	JR上尾駅
	賞	長野町立長野第一小学校
昭和63	賞	志木市あいがも会
	賞	志木市あいがも会

習でもあります。そして、その延長が、家庭生活の中での旗、さらには社会教育、生涯教育へとつながっていきます。こゝで花と教育を側面から指導援助する事業と、その成果の一部を紹介いたします。学校緑化コンクールと、花いっぱい運動に積極的に取り組み、成果をあげている学校や職場、団体等です。



川里村立広田小学校

紙面の都合で、過去七年度の最優秀校のみとしました。尚、緑化コンクルの○印は次年度の全国コンクールに推薦されました。応募校は地区予選を経て入賞校となつていきます。そこで、花の町といわれる川里町に、広田小学校を尋ねてみました。

周年花の絶えない学校に入ったとたん周囲の児童から、「こんにちわ」とすがすがしいあいさつで迎えられる表情の明るさに接して、これだなぁと感じました。木枯に揺れる葉ぼたん、パンジー、ジュリアン、花菜、すいせんが、家庭を取巻く花壇に溢れていました。第27回全国花いっぱいコンクール自治大臣賞受賞記念の標柱が努力した報の記として立てられています。玄関に入るや、ベランダも廊下も教室も花また苗、工夫して寒さをしのぐご苦労がよく伺えます。指導・計画に当たられる寺田先生にお聞きすると「基本は土作りです。子供に愛する心が培われて来ましたが、ほんのりと語って下さいました。町内の機関、施設等に花を届けるのも年中行事になってるそうです。

県、国からも学校開放講座、緑の相談所、公民館活動や、品評会、即売会等、あらゆる行事の奨励援助が進められています。いつの間にか世界有数の花輸入国になった日本は、珍らし物好きと評されていますが、消費の楽しみだけでなく、作る楽しみと、愛する心を楽しむべきではないでしょうか。テクノホル青園芸専門学校校長 小山千秋



本のひろば 埼玉の草花

今回は「埼玉の草花」に関する資料を集めてみました。年々、都市化が進む地域が多い埼玉にも、たくさん草花が自生しているのには驚かされます。春の一日、草花の本を片手に、少し足をのぼしてみませんか。

〔図書〕

浦和の野生薬草 浦和女市薬剤師会編 84 (浦・川・久)

浦和にある約500種の野草の中から薬学的・生薬的に価値ある約200種を選んで編集したもの。 浦和の野草 浦和市教育委員会 89 (浦)

大井町史 自然編 大井町史編さん委員会編 大井町 86 (浦・熊・川・久)

大宮の植物誌 自然の美しさを探してみませんか 大宮市緑のガイドブック作成委員会 90 (浦・久) 大宮盆栽村五十年のあゆみ 大宮盆

栽培組合 73 (浦)

川口市内の野性植物 調査報告 川

口市植物の会 83 (川) 植物の会会

報 No.2 (浦)

関東周辺花の名所ガイド 夏秋・冬

春篇 大貫茂著 日地出版 (久)

82, 81 (久)

オールカラーの楽しいガイドブック。草花の名前から名所をひける索引付。

北本市野外植物目録 北本市教育委員

会 81 (北本市文化財調査報告

書 第11集 (浦・久)

市内に分布する植物の目録 (浦・久)

樹の花の図譜 井上光三郎著 埼玉

新聞社 85 (浦・川・久)

四季別、開花順に配列され、簡単な

エッセイ付きのスケッチ集。 久喜市史 自然編 久喜市史編さん

室編 久喜市 90 (久)

久喜市史調査報告書 第4・14集

久喜市史編さん室編 久喜市

85, 89 (浦・熊・川・久)

第4集 久喜市の動植物(Ⅰ)

第14集 久喜市の動植物(Ⅱ)

熊谷南部産植物目録 堀江秀光、佐

久間二郎 立正大学教養部 77 (浦)

熊谷の花 創刊号 熊谷山草会

86 (熊)

暮らしの中の植物 秩父地方の植物

と民俗をたずねて 守屋忠之著

みくに書房 89 (浦・熊・川・久)

植物方言、年中行事にかかせない

植物、古くから伝わる伝承や習俗と

結びつきの深い植物などを中心にま

とめた書。 越谷の自然 越谷の自然を調べる会

90 (久)

植物については、市内のキタミソ

ウの分布について考察されている。

埼玉県現存植生図 縮尺1:25,000

環境庁 84, 86 第3回自然環境

保全基礎調査(植生調査) (浦・熊・川・久)

埼玉県シダ植物目録 守屋忠之著

57 (熊)

埼玉県植物誌 正・続編 埼玉県教

育委員会 62 (浦)

埼玉県身近な緑の現況調査報告書

概要版 埼玉県 84 (浦)



埼玉山草会誌 第1号〜25号 (浦)

埼玉山草会 57, 81 (浦)

埼玉四季の植物 埼玉新聞社 90

(浦・熊・川・久)

四季折々の植物を掲げ、学術的な

話がやさしく解説されているエッセ

イ風植物誌。巻頭カラー写真、参考

文献も豊富。 埼玉の花 第33輯 埼玉山草会編

桶川 89 (浦)

サクランソウ 中沢袈裟吉編 浦和市

郷土文化会 79 (浦和歴史文化叢

書5) (浦・熊・川・久)

埼玉の花「サクランソウ」の自生地

の分布から、栽培方法、手入れまで、

網羅的に紹介した小冊子。 狭山丘陵の植物 東京薬科大学植物

研究部編 67 (川)

植物学的にみた郷土の緑の自然史の

研究 埼玉県富士見市の植物と植

物相 荒野久男著 日本図書刊行

会 89 (浦・久)

著者在住の富士見市を中心とした

植物相を詳細に説明した研究書。表

現が平易で読みやすい。 植物目録 埼玉県花植木センター

89 (久)

同センター内で栽培、若しくは、

自生している植物の目録。

そうかの自然観察ガイド 身近な動植物たち 埼玉県野鳥の会編集・執筆 草加市 88 (久)

秩父の草花に関する本をいくつか掲げてみました。

秩父市の高等植物 第一報 岩田豊太郎著 82 (浦・久)

秩父路の野草 夏秋・冬春編 鶴田知也文 井上光三郎写真 埼玉新聞社 83・84 (浦・熊・川・久)

秩父路、花の歳時記 スケッチ・エッセイ集 井上光三郎著 北泉社 90 (熊)

秩父両神山の自然観察 日本自然保護協会 89 (浦・熊・川・久)

秩父路峠道ハイキング No.1 No.3 秩父鉄道 88 (浦・久)

武甲山の植物 写真集 守屋忠之解説 井上茂写真 武甲山植物群保護対策推進協議会 78 (浦・熊・川)

天然記念物「武甲山石灰岩地特殊植物群落」追加指定地域の地質と植生 横瀬町教育委員会 85 (熊)

三峰山 大血川地区への植物文化財 大滝村文化財保護委員会編 大滝

村教育委員会 75 (大滝村の文化財資料5) (川)

鶴ヶ島の植物 鶴ヶ島市史編さん室 (鶴ヶ島市史 自然編2) 90 (浦・熊・川・久)

東京周辺 花の名所ガイド 春夏秋冬 大貫茂著 日地出版 83 (川)

都幾川村の植物 写真集 中澤利雄 小川伸幸編 都幾川村の植物刊行会 82 (浦・熊・川・久)

県内でも極めて珍しい植物もあり、貴重な写真集。

戸田市の植物 戸田市立教育研究所編 増修版 戸田市教育委員会 82 (浦・熊・川・久)

野に咲く草花 野草の観察と栽培の手引き 磯部昂執筆 長瀬町企画調整室 88 (浦・熊・川・久)

長瀬町の広報に掲載されていたものを一冊にまとめたもの。長瀬の山野にどんな野草が生え、花が咲き、どんな性質なのか分かる本。

野山の花 万葉植物愛好会 87 (熊)

花と緑武蔵野にあそぶ 川口グリー

ンセンター 86 (浦)

原市沼周辺の植物 上尾市教育委員会 (編) 82 (文化財調査報告 第10集) (川)

東松山植物誌 岩田三男次編 東松山市教育委員会 72 (東松山市文化財調査報告 第9集) (浦・熊・川)

武州の紅花 上尾地方を中心として 上尾市教育委員会 84 (上尾市文化財調査報告 第3集) (浦)

ふるさとの植物 埼玉県指定天然記念物他 加藤克明著 大宮植物同好会 77 (浦・川・久)

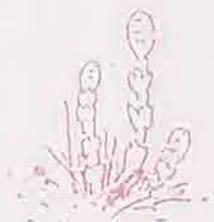
県内にある天然記念物を紹介。意外にも身近なところに天然記念物があるのがわかる。

ふるさとの緑の紹介 ふるさとの緑の景観地、森・並木道、埼玉県環境部自然保護課 85 (浦)

緑と清流を歩く 埼玉の自然100選フォトガイド 朝日新聞浦和支局編 さきたま出版会 86 (浦・熊・川・久)

一般公募で決定した埼玉の景勝地100選。ふるさとの貴重な自然を紹介。

武蔵野 写真集 行田哲夫 (撮影) 埼玉新聞社 86



【雑誌】

自然史百科 埼玉県立自然史博物館 82 (不定期) (浦・熊・川)

最新号は「春植物―早春の落葉樹林を彩る花々―」です。B5版カラーの百科です。

みどりの埼玉 埼玉県環境部自然保護課 76 (季刊) (浦・熊・川・久)

緑化行政から草花の手入れについてまで、郷土に密着した情報が掲載されています。

※(一)内の略語は、各館の所蔵を表わします。

浦：埼玉県立浦和図書館
熊：埼玉県立熊谷図書館
川：埼玉県立川越図書館
久：埼玉県立久喜図書館

3月～5月の主な催し物

● 県立浦和図書館(084-261-2111)

生涯学習講座
3月16日(木)・19日(日) 14時～ 連続講座 桶川メインホール (桶川駅西口徒歩3分)

「ミュージズのおくりもの―音楽と詩の出会い―」講師 芦川紀子先生 申込み 電話にて桶川市立駅西口図書館へ 電話(084-261-2111) 定員80人(先着順)

《映画会》

3月13日(日) 14時
名作映画「それから」
春の子ども映画会―

3月27日(日) 10・14時
「ブルートのサーカス」「プーさんと虎」「私たちのこもりうた」

4月3日(日) 10時・14時
「デイズニーのみにくいあひるのこ」「はれときどきぶた」

4月17日(日) 14時
「日本の文化・芸能」
5月8日(日) 14時
「世阿弥の能」

名作映画会「次郎物語」

「明るい長寿社会をめざして」
5月22日(日) 14時
「よしっノ僕がやるノ」
「12歳まで生きようよ」

● 県立熊谷図書館(084-531-3611)
名作映画鑑賞会―
3月14日(日) 10時・14時
上原謙追悼「愛染かつら 総集編」
4月4日(日) 10時・14時
「故郷」

3月13日(日) 14時
「トキよ舞いあがれ―栗だちの記録―」
4月17日(日) 14時
「ふるさと埼玉」「武甲山」

4月24日(日) 14時
「イヌワシ風の砦」
子ども映画会―

3月27日(日) 13時30分・15時
「アラジンと魔法のランプ」
4月7日(日) 10時・14時



「フラッシュくんのはうけん日記」
「あしたふたの日ぶたじかん」
● 県立川越図書館(084-241-5610)

《映画会》
映画の集い―食を見つめて―
3月13日(日) 14時
「食品添加物」「それでもあなたは食べますか」「新しいおふくろの味」

名作映画会―
3月14日(日) 10時・14時
「卒業」

春の子ども映画会―
3月27日(日) 10時・14時
「ちびっこカムのほうけん」

4月3日(日) 10時・14時
「3丁目物語・春」「ジャングル大帝・故郷」

4月24日(日) 14時
映画の集い―伝統を訪ねて―

5月8日(日) 14時
「漱石の世界」「芥川龍之介の世界」

文芸映画会―
5月23日(日) 10時・14時
「それから」

● 県立久喜図書館(084-011-2111)
《映画会》 視聴覚室

名画鑑賞会―
3月7日(日) 10時・14時
「奇跡の人」

一定例映画会―
3月13日(日) 14時
「狂言」「世阿弥の能」

春休み子ども映画会―
3月27日(日) 10時・14時
「小さなバイキングビッケ―大きな木馬の贈り物」

4月2日(日) 10時・14時
「母をたずねて三千里」

4月3日(日) 10時・14時
「月の輪グマ」

4月24日(日) 14時
「ジャングル大帝―自然―」

一定例映画会―
4月24日(日) 14時
「宮沢賢治」「幾山河の歌牧水」

5月8日(日) 14時
「おばあちゃんは何処へ」

5月22日(日) 14時
「地域に残る歴史のあと」
「よしっノ僕がやるノ」
「これからの街づくり」



埼玉の草花<草花の観賞できる主な場所・施設>

花

- (ウメ)
- ① 越生梅林(越生町)
- ② 平林寺(新座市)
- ③ 秩父聖地園(秩父市)
- (サクラ)
- ④ ユネスコ村(所沢市)
- ⑤ 美の山公園(秩父市)
- ⑥ 大宮公園(大宮市)
- ⑦ 宮沢湖(飯能市)
- ⑧ 権現堂(幸手市)
- (ポタン)
- ⑨ 箭弓稲荷神社(東松山市)
- (フジ)
- ⑩ 久伊豆神社(越谷市)
- ⑪ 牛島(春日部市)
- (スイレン)
- ⑫ 円照寺(入間市)



草

- ⑬ サクラソウ自生地(浦和市、田島ヶ原)
(国指定・特別天然記念物)
- ⑭ ヒカリゴケ発生地(吉見町、吉見百穴)
(国指定・天然記念物)
- ⑮ 石灰岩地特殊植物群落(横瀬町、武甲山)
(国指定・天然記念物)
- ⑯ ムジナモ自生地(羽生市、宝蔵寺沼)
(国指定・天然記念物)

施設

- ⑰ 埼玉県植物振興センター(川口市安行)
- ⑱ 川口市グリーンセンター(川口市新井宿)
- ⑲ 大宮市見沼グリーンセンター(大宮市見沼)
- ⑳ 緑化指導センター(大宮市)
- ㉑ 狭山市都市緑化植物園(狭山市柏原)
- ㉒ 熊谷市緑化センター(熊谷市宮)
- ㉓ 埼玉県花植木センター(深谷市橋引)
- ㉔ 森林公園(滑川市山田)

ついでに...

冬も遠ざかり、日増しに、太陽の光も暖かく感じられる季節になってきました。
野山では、春が来るのを待ちわびていた草花が一斉に芽をふき、鳥の鳴き声も一段と高く聞こえてきます。県内の公園では、草花のほかに、

- 自転車に乗れる公園
- さいたま水上公園(四七三三六三二)
- 場所 上尾市口の出二丁目
- しらこぼと水上公園(四六七五五三二)
- 場所 越谷市大字小曾川九八五
- 久喜菖蒲公園(四八三三三六六)
- 場所 久喜市河原井町七〇
- 森林公園(四九三三三三三)
- 場所 比企郡滑川町山田元一〇
- 道満グリーンパーク
- 場所 戸田市大字重瀬七四五
- ポートのある公園
- 大宮公園(四六六三三六三)
- 場所 大宮市堀の内三三九九三
- 川越水上公園
- 久喜菖蒲公園
- 別所沼公園(四八八六一七四)
- 場所 浦和市別所四丁目

編集後記

暖冬と言われた今冬であっても、春は早く来てほしいもの。街の生花店は一年中店頭の花がある。球根等を冷蔵倉庫で調整すると耳にした。さて、今号は「埼玉の草花」と題してお届けします。
巻頭で「ツワブキ」の葉が佃煮や薬用になると、さらに、殖やし方まで紹介してくださった萩原教頭さん。主題は埼玉県園芸試験場高山智子技師さん、花植木生産埼玉は、全国有数の生産県と「埼玉を彩る」を紹介してくださいました。小山教授が、花と教育を側面から指導援助する事業と成果を紹介してくださいました。

- 八丁湖公園(四六三三三三三)
- 場所 吉見町大字一三〇番地
- 小動物がいる公園
- こども動物自然公園(四六三三三三三)
- 場所 東松山市大字岩殿五五四
- 浦和市子供動物園(四八八六一六六)
- 場所 浦和市大崎三二五六
- 狭山市立智光山公園こども動物園
- 場所 狭山市柏原(四九三三三三三)
- 大宮公園小動物園(四六六三三六六)
- 場所 大宮市高鼻四